

2012年6月27日

ロシア関連メモ 092

国際公共政策研究センター
主任研究員 石野 務

「サンクトペテルブルク国際経済フォーラム」におけるプーチン演説

1. はじめに

本稿では、2012年6月21日に開催された、「サンクトペテルブルク国際経済フォーラム」で行われた、プーチンの演説について紹介する。

本国際経済フォーラムには、国内外の企業家、政府関係者などが参加し、ロシアの経済問題等について話し合いが行われた。

今年のテーマは、「実効性のあるリーダーシップ」であり、プーチン大統領は、その演説の中でロシアの経済政策について語った。

2. 概要

今回プーチン大統領の演説で語られた経済政策方針は、基本的に、「国家の長期経済政策について」の大統領令（ロシアメモ 088 参照）や、20011年度の政府実績についてのプーチン首相の国会演説（ロシアメモ 089 参照）で述べられた内容と変わる点はない。

欧州地域の経済混乱については、資金不足や財政赤字と同時に決断の欠如があると指摘している。また、今後の世界経済の安定化の強化のためには、先進諸国に加え BRICS 諸国の関与も必要とし、ロシアや中国などの関与をアピールしている。

ロシアが目指すゴールとしては、競争力の優位性の強化、世界経済や安定した国内成長における新たな機会の創造、国民に利益をもたらす効率的な公共サービス、国民の絶対的な信頼をもたらす法的強制力や司法システムなどを挙げている。

インフレ率の低下（4年前の13%から昨年は6.1%に低下）、少ない国家債務（GDPの9.2%）など経済は良好な状態にあると認識しているが、まだ適切な多様化が進んでおらず付加価値の多くは一次産品によって創造されていること、競争力のない古い工場の占める割合が高いこと、原油価格に対するロシアの依存性の水準は高いままであることなどの課題が残っていることを指摘している。また、新たな財政規律の適用において、国の義務や、支出予算や、国家が参加する長期間の投資計画については、現在の原油価格を考慮してはならず、原油からの一時的な収入は、基本的に直接、準備金に充当されるべきであるとの考え方を示している。

経済の活性化の為の海外投資資金の誘致についても言及している。現在 GDP の 20% の水準にある投資量を、2018 年までに 27% まで引き上げることを目標としており、投資環境の改善のために、建設、通関等における障害の排除を行うことを述べている。

官僚の圧力や汚職、行政の障害を、これから解決すべき問題として捉え、これらから企業を守るために、「企業家の権利のための委員会」を創設し、長官を任命したことを説明している。また、ロシア政府の目標は国家資本主義を築くことでなく、公開競争の下での公正な手続きにより国や地方政府の企業の民営化を推進していくことも強調している。

今回の演説では、国内の金融サービスの状況についても触れている。具体的には、昨年、個人に対するローンが 43% 増加し GDP の 10%、法人に対する貸付は 25% 増加し GDP の 34% に達したと報告しており、急激な貸付増加に対する慎重な対応を約束している。

また、ロシアの年金基金は今では 4 兆ルーブルを超える水準まで増加したが、今後その一部をインフラ開発事業資金に充当することも表明している。

一方、民主主義推進政策として、10 万人以上の署名を集めた法案について、連邦議会での審議を保証する法案を提出したことも述べている。

3. 仮訳：「サンクトペテルブルク国際経済フォーラム」におけるプーチンの演説

サンクトペテルブルクの国際経済フォーラムに皆さんをお招きでき、光栄です。私は、ロシアの変革についての私たちの計画に参加されている代表の皆さんと分かち合い、国際経済の状況についての私の見方を伝えたいと思います。しかし、最初に少し前に閉会した G20 サミットについて話をさせて下さい。

サミットに参加した諸国は、全世界の GDP の 90% を占めています。全般的に、協議への参加者にとって国際経済の状況は非常に憂慮べきですが、今日このホールの集まっている皆様にとっては、何も新しいことではありません。とても多くの不均衡や累積借入が存在しています。皆さんは、欧州地域の先進国の状況はご存知だと思います。ドイツは（GDP 比の国家債務が）81%、フランスは 86%、米国は 104%、そして日本はもっと高い数値です。これが、実業界の自信を弱体化させ、投資家を用心深くさせているのです。

不幸なことに、資金不足や財政赤字と同時に、決断の欠如があります。私たちは多くの基本的で明らかな措置が、政治的な党や団体の紛争や、現在の政治的風潮、先進経済における政治的課題によって先送りされ、施策の半分は事態を悪化させるだけであったことを観察しています。

欧州は、増大するリスクに直面しています。株式市場は、欧州主要国における経済の安定性への信頼減少を示しています。残念なことに、欧州地域のコアとなる国々は、経済の

下降が新たな不況の波になっていくことを止められません。彼らは、経済危機から脱出するための合意に至っていません。しかし、私は、次の欧州地域におけるトップレベルの会合で、確固とした解決策が実現されることをとても期待しています。

不幸なことに、この危機は地域に限定されたものではなく、経済活動原則や経済成長の鈍化の兆候は、新興諸国でますます明らかになってきています。しかし、ギリシャの選挙の結果、ギリシャ国民の選択は、EC への姿勢を固めました。EC では、全般的に、特に財政的な規律や不均衡の排除を達成した国が、楽観主義への警戒の気持ちを抱いています。

ロシアは、世界金融と、その経済実体部門の基礎に対する堅固な従属性を復活させ活性化するために、早急に調整の行動が行われる必要があると信じています。さらに、世界経済の秩序を綿密に作り上げ採用していく過程において、所謂発展途上国や、新たな経済的勢力の役割を強めることについて発案することは全く公正であり正当なことです。

これは、G20 サミットと平行して、BRICS の指導者会議で議論されました。この組織には、ブラジル、ロシア、インド、中国、南アフリカが参加しています。これらの諸国は、世界経済の安定性を強化するために、安定化方策の実施への貢献を確約するばかりでなく、これについて確固たる措置を行いました。彼らは、IMF に対する 750 億ドルの追加拠出義務を引き受けたのです。

私たちの資金の利用方法に影響を与える私たちの願いは中立的なものです。私たちは、IMF やほかの国際的金融機構の現実的な改革や、新しい経済力の均衡を反映した改革を開始しなければならないと信じています。一般に、私たちは、世界の貿易や相互投資のための実現可能な最新の規則の開発や、エネルギー保障も含めた持続可能な成長の課題についての、現実的な解決策について話し合わなければなりません。

私は、私たちがこれらの課題に優先順位を付け、2013 年にロシアが開催する G20 において、それらを活発に推進しようとしていることを強調します。私たちは、パートナーに対し、来年の G20 を、ここサンクトペテルブルクで開催することを提唱したのです。

G20 が効果的なリーダーシップについて全責任を負うべき時が来ました。これは、G20 が、単にその参加国の世話をするだけのエリートの集まりになるべきでないことを意味します。身勝手さや裏取引は、安定や自信をもたらしません。

G20 は、世界経済全ての持続可能な発展のための公正なルールを作り上げる場となるべきです。全ての国家が互いに依存し合っている大陸間の国際経済の特質は、今日、世界で

最も進んでいる経済圏に、世界的な責任を与えているのです。

これは、また、予備的な通貨を流通させている諸国、別の言い方をすれば、金や準備金を多く保有し、それによって国際経済システムの安定性を保証している国や、最も大きな国内市場や天然資源を保有し、全世界の力強い成長の大部分を決定してしまうような国と同じように、印刷機を回している諸国にも適用されます。私たちは、単に協力して行動し一致団結した政策を実施するだけでなく、国際的なレベルで行われた決定がどれだけ世界的な規模の影響を与えるかについても意識すべきです。

私はここで、ロシアが、ただ、このような責任のある取り組み方に導かれているだけであることを述べます。例えば、欧州地域の問題にもかかわらず、私たちは、国際準備金の大きな部分をユーロ建て保有し、すでに困難な状態になっている欧州通貨の状況をより複雑にするような一方的な措置はとっていません。私たちは、今日、全世界の繁栄は、その多くが欧州地域の指導者の行動にかかっていることを認識しています。したがって、私たちは、共通の長期的な目標に基づいて、欧州のパートナーを支えています。

さらに、私は、私たちがともに欧州の状況から学ぶべきであると信じています。そして、世界の他の地域で類似の危機が再び起きることを防ぐ国際的政策を提案します。

一般に、今日では、効果的なリーダーシップや責任ある一連の行動に対して、現実的な解決策と自信を増加させる行動が必要とされます。これは、均衡のとれた予算政策、国家債務や財務規律の統制を意味します。私たちは真実を見極め、責任を負わなければなりません。金融投機や政治的ポピュリズムの蔓延は、同等に危険です。政治や経済にバブルや気を紛らわすものが入る余裕はありません。

最終的に、リーダーシップとは、世界的な停滞や不安定さから立ち直るための根本的な方法を見つけだし、長期的な発展の戦略を立案し実施する能力です。最初にそれができる者が、戦略的な優位性を得ることができます。

要求された結果をもたらすことができないリーダーや、国民により良い未来や良い仕事に対する希望を与えることのできないリーダーは、国を、全ての種類の紛争や社会や政治の不安定のどん底に陥れるリスクがあります。したがって、今日、持続可能な発展が、世界のどの国においても主要な国家的課題となっています。それは、世界の安全の基盤であり、国際関係における全てのシステムにおける正しい類似性なのです。

皆さん、ここロシアで私たちは、広く公衆の支持を得た大規模な改革プログラムを発展

させていただきました。私はその実施が、大統領としての私の責務だと考えています。

私たちのゴールとは何でしょうか？それには、ロシアの保有する生来の競争力の優位性の強化、世界経済や安定した国内成長における新たな機会の創造、国民に利益をもたらす効率的な公共サービス、国民の絶対的な信頼をもたらす法的強制力や司法システムなどが含まれます。

私たちは、これらが、ロシア市民の自己実現に対して、新たな機会や、新しい生活の品質や、近代的な仕事を創造することを望みます。それらは教育や保健医療を改善し、住居問題の解決に役立ちます。

営利事業にとってこれらは、投資や、自分の事業の経営、新しい会社や産業の立ち上げ、しがらみが無く公正な競争、革新のための豊富な機会のために、最良の状況を作り出すこととなります。私は、私たちの経済政策の基本原則に集中したいと思います。特に、私は、以前に公表された概念を繰り返したいと思います。何故なら、実業界や投資家は、官庁については、公表された基本方針の修正は行わずに持続性を保ちながら、一貫性がありその行動が予見可能であるべきであると考えているからです。

もちろん、私たちが述べていることは全て「言うより行方が難し」であります。そこで、私は、もう一度、マクロ経済の安定が私たちにとって特別な最優先事項であることを強調したいと思います。この政策について、私たちはある程度の結果を達成しています。例えば、先進国と比べるとまだ高い水準ではありますが、過去 4 年間にインフレ率が目覚しく下がりました。昨年のロシアのインフレ率は 6.1%でした。これはまだ高い水準ではありますが、これが 4 年前の半分以下であることに注目していただきたいのです。

4 年前にロシアのインフレ率は 13%以上でしたが、去年は今述べましたように 6.1%でした。これは過去 20 年間で最も低い数値です。さらに、6 月初旬の段階で、インフレ率は、年間ベースで 4%以下になっています。

ロシアは G8 や G20 や、BRICS の加盟国の中でもっとも国家債務が少なく、2012 年 5 月 1 日現在、GDP の 9.2%です。同時に、ロシアの対外債務は 2.5%です。また、ロシアは、G20 に属している国の中で予算が均衡している 3 つの国の一つです。これについては後ほど述べます。

現在のマクロ経済指標は、極めて良好で許容できる状態です。しかし、満足しているわけにはいきません。私たちは、私たちの経済の中長期的な課題についてよく分かっています。

す。私たちの経済は、まだ適切に多様化されていません。付加価値の多くは、一次産品によって創造されています。競争力のない古い工場の占める割合は高く、原油価格に対するロシアの依存性の水準は高いままです。原油からの収入が見込めなくなった場合に生じる、危険な財政赤字を削減する必要があります。これは、私が G20 で述べたように、私たちの経済のアキレス腱です。

不確実性の高い時代において、このような経済はとても脆弱であり、著しいリスクにさらされています。これが、ロシアが、財政赤字のない状態にとどまらず、安全な余剰を持った、原油や天然ガス収入を基盤としない予算を必要としている理由です。国家予算は、原油以外の収入に基づくべきであり、炭化水素の売上げからの収益は、二次的な役割に位置づけられるべきです。

従って、近い将来、私たちは新たな財政規律を適用します。その基となる考え方は、私たちの義務や、支出予算や、国家が参加する長期間の投資計画については、現在の原油価格を考慮してはならないということです。原油からの一時的な収入は、基本的に直接、準備金に充当されるべきです。

同時に、中央銀行は、変動為替相場政策を継続します。今日では、これが、外部変動に対する私たちの実体経済や手続きへの依存の低減や、投機的な為替取引の影響の削減、インフレの抑制に貢献しています。

私たちは、資金の自由移動の原則から離れるわけではなく、この分野においていかなる制限も強制するつもりのないことを了承してください。私たちは、ロシアに投資を行おうとする投資家にとって、このことに関する透明性の重要性にも気付いています。私は皆さんに、最も困難であった 2009 年の経済危機の時でも、ロシア政府が資本の輸出に制限を行わなかったことに注目していただきたいのです。私たちが、かなりの量の通貨資源を失いましたが、私たちは、投資家の信頼を必要とする、ロシアの長期的な経済の利益からそれを継続したのです。私たちは、将来もこの政策を継続するつもりです。

過去の経験から、経済に対する突然の厳しい決定や行政上の制限は役に立たないことが分かります。経済の混乱に効率的に対応するために、政府や財務当局は、どのような事態にも活用できる、危機管理機構や、十分な国内統治資産を保有していなければならないのです。

この観点から、昨年秋の状況を思い出してみてください。世界の多くの国の銀行が流動性危機に直面していました。財務省と中央銀行の経済当局による協働によって、ロシアの

銀行システムの潤滑な活動は保証されました。短い期間に、財務省は、単独で金融機関に対し 300 億ドル以上を助成しました。これは、ロシアの莫大な準備金に手をつけずに行うことができました。

中央銀行の外貨準備金は、世界で 3 番目に大きなものですが、6 月 8 日に 5120 億ドルにもなります。さらに、私たちには、ロシア連邦の準備金があります。通貨問題の迅速な解決を目的とした準備基金は 600 億ドル以上にもなり、別の年金システムの助成を目的とした年金基金は 855 億ドルにもなります。

私は、今日、ロシアは、自由に使える十分な準備金や、劣後ローン、国の保証、需要刺激や雇用助成を行うプログラムなど、多様な、危機に迅速に対応する機能を有していることを強調いたします。2008 年から 2009 年の間に全ての在庫が調査され、効力があると実証されました。私たちは、世界経済に悲観的な傾向がある時に、これらを全てかつ迅速に用いる準備ができています。

その一方で、私たちは、これから起こる危機は、存続期間やその兆候の性質において異なるかもしれないと考えています。従って、私は、全面的な予想とリスクマネジメントのシステムを作り上げることが適切であると信じています。私たちはそのようなシステムの開発に取り組みます。私が首相であった時に、そのようなシステムをデザインするよう同僚に頼みました。新政府もこの努力を継続します。

近年の危機のほとんどは国外からやってきました。そして、それらの要因に対して、当然ながら私たちは何もできませんでした。しかし、健全なリスクマネジメントシステムにより、私たちは、外部からのショックの影響を最小化し、私たち自身の財政赤字の累積にという内部要因による危機の発生を防ぐことができました。これはロシアのような新興経済にとって根本的に重要なことです。

皆さん、迅速な対応手段の能力を向上させる際に、私たちは、根本的な解決策とは、新たな経済、様々なタイプの衝撃に耐え、外部で困難な状況があろうとも急成長を行うことのできる経済を構築することにあるのではないかという前提に立って取り組みました。

2011 年のデータによれば、ロシアの GDP は 4.3% 成長しました。これは欧州の主要諸国の成長率よりも高い比率であり、世界の主要な経済国の中でも最も高いものです。私たちを上回るのは、中国とインドだけです。

失業については、社会的な幸福だけでなく、経済そのものにとって最も重要な指標に含

まれます。5月にロシアの失業率は、5.4%以下に下がりました。これは、経済危機以前よりも大幅に低い水準です。皆さんをご存知のように、欧州の失業率は11%で、過去16年間で最も高い水準です。

ロシアでは、全てが穏やかで順調でないことは認めざるを得ません。何故なら、今述べたように失業率が5.4%と低くなったと言っても、地域ごとに異なっているからです。例えば、我が国の南部や、北コーカサスや、共和国では、失業率はまだ極めて高いからです。しかし、国全体ではまあいい数値です。

この低い失業率は、無駄な生産能力や労働力の供給が底をつくことにより、広範な成長の機会が可能となったことを意味しています。更なる成長は、高い投資活動や、高い労働生産性、現存の製造機械や仕事の近代的化や新調によってのみ可能なのです。

私たちがここで用いようとしている参照数値は何でしょうか？2020年までに、ロシアは、25百万の仕事を創造し近代化します。私たちは、国の経済から、時代遅れで非効率的な仕事を排除する必要があります。そうすることによって初めて、私たちは、現在の労働者や、将来の労働者（言い換えればこれから大学や専門学校から卒業する者）に対して、新たな機会と社会の繁栄を与えることを可能とする近代的で支払いの良い仕事に対する、国民の要求に応えることができるのです。

最も重要なことは、何百万と言う新規の仕事を創造することの経済的な効果は、生産性の向上にもつながると言うことです。2018年までに1.5倍は向上させます。これはとても複雑な課題ですが、私たちは私たち自身に意欲的な目標を課すべきです。そうすることによってのみ、私たちはゴールに着実に近づくことができるのです。

新しい仕事とは、根本的に全く異なった経済構造や安定性を意味します。2018年までにハイテク分野からの生産の割合を少なくとも1.3倍増加させます。同時に、ロシアは、先進的な商品やサービスの輸出者として認識されなければなりません。

もちろん、投資によっても新しい仕事生まれます。2018年までに投資量をGDPの27%まで引き上げます。これは多いか少ないか？私は、現在の数値が20%であることを踏まえ、これは極めて現実的な目標であると感じています。2018年までにこれを7%増加させる必要があります。

そして、当然、私たちが投資について話す時それは民間投資を意味します。私たちは、投資家がロシアを選択するように、他の投資に競合できるような独占的な条件を投資家に

与えなければならないことを理解しています。これが、私たちが単に好ましいだけでなく、本当により良くより競争的な投資環境を形成しようとしている理由で、これは国家政策の重要な事柄です。そして、この10年間の終わりまでに、ロシアは、世界で最もビジネスに適した国のトップ20に入らなければなりません。これもまた、現在の我が国の位置を見れば、少し困難で意欲的な目標です。

私たちはすでに、エネルギー配管網への接続、建設、通関手続き、海外貿易取引、事業の登記、納税申告所の記載などにおける行政上の障壁排除についての詳細な計画書を作成しています。

私は、私たちがこれらの仕事を、国の企業家政策の枠組みの中で、我が国の主要な産業連合と協働して行っていることを、特に強調します。これが、国の企業家政策の実施における特別な委員会が設けられた理由です。これには、ロシアや、外国企業の代表や、官庁の代表も含まれます。

しかし、過去に偉大な政治家がこう言っています。「もしも何かを遅らせたいのであれば、委員会を作ることだ。」と。私たちはこれを知っており、常に覚えておくべきです。そして、実業のための向上した政府サービスのシステムを創造するには時間がかかることを理解するべきです。そして、企業家はその権利の侵害や、官僚の圧力、汚職、行政の障害に直面した場合の問題が解決されなければなりません。

これが、「企業家の権利のための委員会」という特別な新しい組織が、ロシアで創設された理由です。これは、ロシアと外国のビジネスに適用されることを強調します。委員会は、法廷で実業家の権利を防衛する権利を有し、法廷の決定に従って政府の部局や規制当局の行動を差し止め、官僚による行動を迅速にやめさせるために法廷に訴えます。もちろん、これを行うために、私たちは、関連法令の改定を行う必要があります。私は、何人もの州の議員がここに出席しているのを見ていますので、彼らにこれらの決議を迅速に行うようお願いします。

実業界との協議を受けて、「ビジネス・ロシア企業委員会」の議長のボリス・ティトフ氏を、「企業家の権利のための委員会」の長官に任命する決議が行われました。私たちは、信任投票を行いました。実際、全ての企業家連盟は、ティトフ氏が有能な長官であることを暗示しました。関連する大統領令がすぐ署名されます。長官は数週間以内に仕事を始めるでしょう。

私は、検事総長もこの分野の仕事に特別な注意を払うべきだと思います。そうすること

で、長官は、法執行システムと直接仕事を行うことが可能になります。

実業家との会合で、私はよく、経済における国家の過剰な存在や、国営企業が優遇的な取り扱いを受け、競争原理の外で活動し、本来民間企業が活動すべき分野を占有しているという事実を含む苦情を耳にします。

今日、私は、私たちの基本的な立場を再確認します。国は、徐々に様々な産業や資産から引き上げていきます。連邦政府の資産の民営化計画が承認され、実行される予定です。私は、類似の民営化計画が、地方自治体レベルでも行われることを付け加えておきます。

ここで、これが、根本的に異なった民営化であることを強調します。この民営化は、過去の何代にも亘る国民によって創造された国家資産が、権利の乱用によって市場価格より低い価格で、そして時には国の資金を用いるという不正な手段で取得された、1990年代に広く用いられた、株式取得のための借入に関する競売やその他の疑わしい取引とは別のものです。

これらは、同時に企業家のやる気を失わせ、企業倫理に悪い影響を与え、精神的なレベルまで含む、根本的なシステムの問題を生み出しました。私は、皆さんが、不正な手段によって獲得された資産に対して、社会的な尊敬を得ることは難しいことに賛同することを確信しています。

不幸にも、この分野における施策は、最近のものでも、その頃からほとんど変わっていません。私はこれを非常な後悔をこめてお伝えします。従いまして、新たな民営化は、ロシア社会に無条件で受け入れられる、本当の価格を提示した買い手が資産を手に入れることのできる、公開の競争の下での資産の売却に基づいた、明らかで公正で平等なものではない限りなりません。

これらの原則を遵守することによってのみ、私たちは、連邦予算が適切な収入を受け取り、対象となっている資産が、資産をただ転売するよりも生産性を向上させることを計画する能力のある所有者に渡ることを確保できます。最も重要なのは、これが、私的財産に係る法律についての強制力や社会的尊敬や、経済的自由、企業家の自発性を保つ方法であることです。

もしも私たちがこれらの価値について、無条件に社会的信頼を確保することができるのであれば、私たちは、私的財産の保護についての効果的な予防手段を強化し、法の執行や司法制度の仕事を、実業に圧力を与える道具ではなく、経済活動への誠実な参加者の利益

の保護を行うために必要なことを全て行うものとして、その質を変えることができます。

正直なところ、公正な民営化、すなわち行政機関と資産の結びつきを断ち切ることは、非常に強力で基本的な、不正への対抗手段なのです。不幸なことに、誇張なく、汚職が私たちの発展に対する最も大きな脅威なのです。そのリスクは、原油価格の変動よりも悪質です。国民は、日常的な行政機関や法廷、司法当局、国営企業の汚職や贈収賄にうんざりしています。

これは、困難な仕事であり、私たちはこれについて最近、何度も討論してきました。この問題は簡単に解決するものではありませんが、それが存在しないと取り繕うことはできません。私たちは、これについて語りこれを取り除く道具を探さなければなりません。私たちは、異なった動機を有する公務員や、専門的・効率的なマネージャーを引き付けることを含むことを行わなければなりません。民営化は、私たちが、近代的経済を築き、下手な管理に起因するリスクを減らし、競争の公正な条件を確保するために必要なものです。

私は、私たちの目標は国家資本主義を築くことでないことを、もう一度強調いたします。同時に、民営化は、国有の独占企業に代わる、民間の独占企業の出現をもたらすものでもありません。私たちは皆、健全な競争がなければ、市場経済は、指令行政システムのように腐敗する傾向にあることを知っています。

公正な国内の競争や、法律の支配、実業と国家との間の関係における真実や正義がなければ、国際的な競争の場が本当に競争的にはなりません。政治や経済における競争が、発展の主要な原動力なのです。そこで、私はロシア連邦政府に対して、反トラスト法や競争の援助の実践について、大規模な見直しを行うように指示しました。これは、経済の直接の参加者との密接な交流を通して行われるべきです。

私たちは、民営化取引に海外の投資家が参加することを歓迎します。ただし、海外の投資家は、ロシアに近代的な技術、生産を体系化する経験、大きな輸出の発注などをもたらす、本当にまじめな戦略的投資家でなければなりません。

私たちがすでに海外投資家との協働について、有益な経験を有していることを述べさせていただきます。私たちは、発電分野で海外投資家と何年にも亘りこの種の仕事を協働してきました。世界的な金融・経済の危機が世界を襲った後でも、私たちの発電設備に対して何百億ドルもの投資を行った海外投資家は、非常に勇敢に振る舞い、とても専門的なやり方を保ちました。私は、このようなロシアの地方政府や連邦政府との協力が電力分野だけでなく他の分野においても継続されることを望みます。

皆さん、今日の世界の不安定性さが、投資の質と性質を非常に重要なものとしています。ポートフォリオ投資は、市場を早く盛り上げ活発にしますが、しかし、そのような投資は短期間の事象の影響を受けやすいのです。投資家の、早期に成長し、収益が高い市場への熱狂は、些細な悲観主義や資本の戦いによって崩壊するものです。私たちはロシアでそのような状況に遭遇してきました。だからこそ、私たちは、直接投資や、特定の戦略的なプロジェクトへの投資を重んじているのです。

ロシアは、海外からの直接投資の受け入れにおいて世界で第8番目です。2011年に海外投資家は約530億ドルの投資をロシア経済に行い、投資の伸び率は22%になりました。しかし、これは、私たちの計画の実施にはまだ不十分であり、私たちはこのことをしっかり認識すべきです。

評判のいい国際的な会社によって行われた調査によれば、ロシアでの投資を増加させようとしている長期的な投資家の数は、この6ヶ月にほぼ倍増したとのこと。2011年の10月には、150社の会社や投資ファンドからの回答の25%が、投資を増やす計画があるとしていました。2012年4月にはこの数値は48%になり、ほとんど倍増しました。私たちはこれを歓迎し、できる限りこれを支えるつもりです。

1年前、ここサンクトペテルスブルクで開催されたフォーラムで、ドミトリー・メドベージェフが、ロシア直接投資基金の設立について話しました。この基金は、今では立ち上がり活動しています。その専門諮問委員会は、早急に組成され、世界的な投資家の指導者が入っています。すでに最初の契約が行われ、金額は約10億ドルにのぼりますが、そのうち8億ドルは海外の投資ファンドからのものです。

実際に、中東、中国、欧州、米国、オーストラリアなどの全ての国際的な資金センターは、ファンドと連携しています。2週間前、私の中国訪問の間に、本基金は、40億ドルまで取り扱うロシア-中国間の投資ファンドの出資者に加わりました。

私たちは、モスクワに国際的なファイナンシャルセンターを設立するための努力を続けます。私たちは、ここで幻想を追い求めるのではなく、情勢の現実的な観察を行うべきです。しかし、米国や欧州の大規模な金融機関の多くが今経験している問題にも拘らず、ロシアの金融システムは、過去数年間に亘り急激に成長しました。

ロシアの金融サービスは、会社や普通の人々に、より身近なものになりました。昨年、個人に対するローンは43%増加し、住宅ローンの数は30%増加しました。2012年6月1

日時点で、個人に対するローンは、GDP の 10%にあたる 6.4 兆ルーブルにも達しました。法人に対する貸付は 25%増加し、GDP の 34%に達しました。

私たちは、このような貸付の急増に関するリスクを十分承知しています。例えば、米国における個人貸付の水準はとても高いレベルにあり、これが米国経済や予算に問題を引き起こしたのです。予算は、そのような貸付が一般に国の保証の上で増やされたために損傷を受け、国家財政にも影響を及ぼしたのです。私たちはこれを理解し、非常に慎重に進めていきます。

私たちの銀行システムに対する信頼は増えています。昨年、銀行預金は 25%増加しました。インフレ率の減少により国民は、貯蓄や高入力をどのように保持すべきかについて心配しなくてすむようになりました。個人預金は 12.5 兆ルーブル、GDP の 22%にまで増えました。

私たちはロシアの金融市場や製品市場をより競争力のあるものとするためにいくつかの政策を行いました。例えば、私たちは、MICEX と RTS の 2 つの証券取引所を合併させ、主要となる国際取引所の設立のための基金を創立しました。ここでの取引が、ロシアの資産や資源の価格を決定することになります。

これで全てではありません。私たちは、2012 年 1 月 1 日から有効になる中央預託に関する法律を可決しました。これは、インサイダー情報、市場操作、清算、組織的な競売などの違法な利用を防止するものです。言い換えると、私たちは、私たちの金融機関の活動のために、本格的で全面的なシステムを構築しているのです。

さらに、ロシアの企業は、IAS に従った経済指標の義務的な公表を行うようになりました。私は、国の金融システムのリソースベースに拡大するよう、歩を進める時期が来たと考えています。

ロシアの年金基金は 4 兆ルーブル超まで増えました。2015 年までに約 1200 億ルーブル増加します。私たちは、この基金の一部をインフラ事業の資金調達のための証券に投資することを発議しました。私たちは、これらの年金基金が安全であることを保証します。私たちは、インフラ事業は結局いつでも必要とされ、国内で常に活用されることを知っています。また、私たちは、これが収益性のある投資であることを確かにしなければなりません。これは、私たちが徹底的に調査すべきことであり、決定は、私たちが信用性と収益性の両方があることが確実であると保証できる場合にのみ行われるべきです。

私たちは、投資家に、新たな質の金融や、輸送・エネルギーインフラ以外のものを与える準備ができています。新たな構造と、莫大な潜在的機会を有する、新ユーラシア市場が、設立の過程にあります。ロシアは、ユーラシア地域において、今まで見たこともないようなスケールと早さで、統合事業を開発しています。私たちは、統合を、成長や発展の最も重要な源と考えています。

皆さんは、私たちが CIS の自由貿易圏についての契約書署名したことをご存知でしょう。ロシアとカザフスタン、ベラルーシーは、関税同盟と共通経済圏の中で活動しています。これは、高等教育と職上技術、増加する収入を有する 1 億 7 千万人の人口のある一つの市場を作ろうとするものです。これら 3 国は、より親密な統合に向かって動いています。

旧ソ連の地域で初めて、現実的なマネジメント能力を有した、純粋に超国際的な組織であるユーラシア経済同盟が、活動を開始しました。本同盟はマクロ経済政策や、技術的な規制、競争や国家の独占企業の政策の調整に責任を負います。私たちはこの同盟が、これらの地域に関係する政策決定の質を上げ、私たち自身と海外の企業がユーラシア地域全体の統合から利益を感じることを期待しています。

最後に、ロシアは、今年 WTO : 世界貿易機構の正メンバーになります。WTO の会員の地位や、多くの貿易障害の除外により、投資の質が向上し、ビジネス発展戦略に大きな衝撃を与えるでしょう。ロシアへの投資は、ロシアや欧州市場のみならず国際的な市場の投資家にも開かれています。特に欧州市場は、私たちの欧州の友人が直面している問題にも拘らず、世界で最も魅力的な市場に留まっています。

私たちは、解放性と、国際的な経済発展への統合を支持した硬い選択を行いました。私たちはこの選択を、危機の期間の試練の中でも放棄しませんでしたし、今後も変えることはありません。実際、私たちは、私たちの努力を強化し、ロシアが経済的協力や発展のための機関に参加するところまでもってきました。私は、これが 2014 年に実現すると考えています。ロシアは、将来の世界貿易規則の話し合いにおいても活発で実質的な貢献を行います。

私は、この観点から、私たちが障壁を、貿易のためだけでなく、投資の受領や資産や技術の交換を伴う、大きな国際的事業の実現のために取り除かなければならないことを強調します。私たちは、戦略的な事業を含めて、この種の事業や海外からの投資に門戸を拡げています。ただし、これは相互的なものであるべきで、両方向の流れからなります。

不幸なことに、海外の資産に投資を求めるロシアの企業は、時々壁に当たります。相互

に利益のある取引は、明白に意図された経済に何の関係も持たない相互関係が理由となつて失敗することがあります。これは本当のパートナーがとるべき行動ではありません。

私たちは、私たちの海外の事業に対する人為的な特惠を求めています。私たちは、単に、私たちの投資家が、差別を受けることなくその競争力のある優位性を用いて、公正で正直な競争手続きの中で自由に海外の資産を獲得できるように、すべてに関する平等な取り扱いを求めているだけです。

私たちは、自由貿易を伴った、国家間の自由な投資の移動が、世界的に経済の困難な時代に経済成長のための触媒となると考えています。私たちは、それがもたらす発展の機会を効率的に利用するために協働しなければなりません。

皆さん、世界の発展の将来展望は、私たちの目の前の経済問題を解決する能力だけでなく、国家の統治機構の調整に依存しています。それが本当に国民の興味に働きかけ、国民が真剣に国の課題を設定させ、国が直面する主要な任務に取り組ませるからです。これを達成できる能力がどの国においても政府の有効性や影響を決定します。ロシアも、もちろん例外ではありません。

国、地方、地域のどのレベルでも、国が決定すると言う私たちの状況は、過去 10 年間の着実な経済成長の中で出現した新しい市民社会の質に調和しなければなりません。これは、国家の発展の健全な過程なのです。

私たちは、成熟した市民社会なしに、近代経済を築くことができないことを十分知っています。行政機関は、社会に働きかけ、対話を受け入れなければなりません。この基礎の上でのみ、私たちは、相互信頼を築き、大混乱や行き詰った対立なしに安定した発展を確立することが可能なのです。

民主的な政治体制は、合法的な政府を保証するだけでなく、少数者の意見が聞かれその利益に合理的な保護が与えられながら、多数者の利益を追求する公平さと能力に対する国民の信頼を保証するものであるというのが、私の信念です。これが、政党の登録を非常に簡素化する政策決定をした際に従った論理です。我が国の様々な政治的、社会的集団は、今では、法律の枠の中で、その意見や信念を防御する見込みがあるのです。

さらに、ロシア国民は、法律制定の過程において、より活動的な役割を持つようになります。その議員を国会に派遣するばかりでなく、国民自身が直接法案を提案することができるのです。最低 10 万名の署名を集めた法案は、連邦国会で審議されることが保証させる

ようになるのです。

私たちは、クラウドソーシング（インターネットを通して仕事を依頼する方法）などの近代技術の活用を含めた、民主主義システムの改善を継続していきます。改革の目的は、私たちの国民の生活の質を向上させ、新しい機会や、将来に対する信頼を与えることです。これは、私たちのだれもが、（これは、全国民に適用されることを強調します）政治にかかわることを求め、自分自身を政治家とみなす場合に、専ら法律の枠の中で行動しなければならないことも意味しています。

変革への強い要望は、疑いもなく進歩の原動力です。しかし、それが市民社会の秩序や、国自体を攻撃するようになれば、逆効果であり、危険でもあります。私たちは全員、私たちの政治システムの中で改善できるものは何か、国家の基盤を形成するどの価値や制度が操作できないものであるかを理解する必要があります。

私たちは、私たちの国家に置く最も効率的で適切な民主主義や発展のモデルについて、私たち国民の大多数の賛同を得た共通の回答に至る為に、全ての異なった政治勢力と、公開で、討議や対話を行う必要があります。

皆さん、私たちは、今後数年間に亘る野心的な改革の計画を描きました。私たちは、才能があり、良く教育された国民、私たちの国を変え物事を改善させる政治的な意欲や決断など、私たちの目標に達するために必要なことを全て有しています。とりわけ重要なことは、私たちが国民や将来の世代を前にして、私たちの責任を自覚していることです。私たちは、行動を後日に延期することなく、今実施します。

私たちは、もっと早く、もっと効率的に行動できるという人もいるでしょう。また、ある人は、私たちに、急がないで減速すべきであると助言するかもしれません。しかし、私たちは前に動いており、また前進を続けていきます。私は、私たちが強く、開かれた、そして繁栄したロシアを築くことに自信を持っています。私たちは、パートナーとして、私たちと共に働こうとする者を歓迎します。

ご清聴ありがとうございました。

以上